

令和 8 年 5 月 28 日

臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

〔研究課題名〕 Chat GTP が作成した膜性腎症患者に対する VTE リスクスコアの臨床的有用性の検討

〔研究責任者〕 薬剤科 藏本 彩

〔研究の概要〕

ネフローゼ症候群の合併症として静脈血栓塞栓症（VTE）は広く知られており、その発生頻度は成人では 40%にのぼるとの報告もある。発症には血管内脱水による血液濃縮、低アルブミン血症、凝固線溶系の異常、高脂血症等様々な因子が複雑に関与すると考えられている。

特にネフローゼ症候群を合併した膜性腎症患者では、他の一次性ネフローゼ症候群に比べ血栓症発症のリスクが高いことが知られているが、抗凝固薬による血栓症予防は保険適応外であり、予防効果のエビデンスレベルもさほど高くなく、実臨床では医師の判断によりハイリスク症例にて個々に使用が検討されるのが現状である。そこで本研究では Chat GTP を用いて膜性腎症患者における VTE リスクスコアを作成し、臨床的な有用性があるのか検証する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

膜性腎症の患者さまで、2014 年 4 月から 2025 年 10 月の間に外来通院、または入院された方

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：診断名、既往歴、投薬歴、臨床検査値（血清クレアチニン、BUN、Alb、尿蛋白等）等

〔研究の期間〕 横須賀共済病院 臨床研究倫理委員会 審査承認後から

2026 年 11 月 30 日まで

[研究の発表]

- 第 20 回日本腎臓薬物療法学会学術集会・総会にて。(口頭またはポスター) 発表

2026 年 10 月 31 日～2026 年 11 月 1 日

(大阪、大阪国際会議場)

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお

申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、Chat GTP には患者さんが特定されうる個人情報を用いることはありませんのでご安心ください。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710 (代表) (平日 午前 8 時 30 分から午後 17 時 15 分まで)

連絡先対応者

薬剤科 藏本 彩

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。

以上